

2月から外来センターのMRI装置が新しくなります



新規MRI装置

放射線診断科医長 神宮 晶子

磁場強度が従来の1.5T（テスラ）から3.0Tと2倍になり、画像がとても綺麗になります。

診断性能が向上し、検査時間も短縮され、より多くの患者様にご利用いただけるようになります。また、当院では検査中に音楽と映像で快適に検査ができるような最新装置も導入予定です。磁場強度が上がったことにより、以前にも増して金属等のチェックが厳しくなりますが、ご理解ご協力をお願い致します。

公立藤岡総合病院登録医のご紹介 No.1

山崎外科医院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
PM 1:00~6:00	○	○	○	○	○	△	

住所：群馬県藤岡市藤岡2351 休診日：日曜・祝日
電話：0274-22-1331 (土曜の午後については1:30~3:00)



山崎外科医院
院長
山崎 恒彦

病院の特徴

当医院は、外科・胃腸科・整形外科・泌尿器科を標榜し、外科系疾患を中心に診療を行っています。その他、生活習慣病（高血圧症、糖尿病、高脂血症等）、感冒などの一般的診療にも対応しています。また必要な場合は、各専門医療機関への紹介も行います。さらに、在宅医療・往診にも対応しています。

院長挨拶

当院は、昭和35年に藤岡市の竹田町に開設。その後、施設変更を経て平成7年に現在の芦田町に移設し、診療を行っています。地域医療支援病院である公立藤岡総合病院の登録医でもあります。また「かかりつけ医」として、診療科に限らず何でも相談いただける様な医院を目指し、地域医療（地区の皆様）の一助となる様努力して参ります。

専門医療の紹介 糖尿病内科について

糖尿病内科 朱 啓子

2014年度の厚生省の調査結果では、20歳以上で糖尿病が強く疑われる人（HbA1c6.5%以上や糖尿病治療有りと回答した人）は男性で15.5%、女性で9.8%とのことでした。糖尿病は身近な病気なのですが、初期は症状が出ないことが多いため、定期的な検査が必要です。健康診断では血糖値やHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）を測定するのが一般的です。これらの結果が高めと指摘された場合は、何年も放置すると動脈硬化が進み心筋梗塞などの思わぬ病気を引き起こすことがありますので、早めに病院を受診することをお勧めします。糖尿病で通院されている方の中には専用の機械を使いご自身で血糖値を測定している方もいます。自分で血糖値を測ると、どんな食事をした時に、どの程度血糖値が上がるのか、運動した時はどうか、風をひいた時はどうかなど日々の細かい違いがわかります。

結果を気にしすぎて一喜一憂するのは考え物ですが、測定結果を有効活用すれば自分の体質にあったより良い生活スタイルを身につけることができます。現在糖尿病の内服薬は大きく分けて7種類（製剤にすると数十種類）、インスリンは大きく分けて9種類、さらにインスリン以外の注射薬もあります。新薬が登場し、10年前と比較してもだいぶ治療の選択の幅が広がりました。血糖値が気になるという方は、一度病院へ足を運んでいただければと思います。

糖尿病栄養指導について

栄養室長 竹内 幸子

栄養室では、糖尿病治療の一環として、管理栄養士による個人指導と糖尿病集団栄養指導を実施しています。

個人栄養指導では、患者さん個人の生活環境や嗜好を勘案し適切な指導を行い患者さんのフォローをさせていただきます。また、糖尿病集団栄養指導では、1サイクルが5回（月1回）の集団指導で1年に2サイクル実施しています。テーマは「食事をバランスよく食べましょう」「食物繊維を上手にとりましょう」「減塩について」「外食について」「食品交換表を使って献立をたてましょう」など糖尿病食事治療の基本を学ぶことができます。また、患者さんの体験やご意見なども交えて行っています。

個人・集団共に予約制です。参加ご希望の方は、主治医にご相談下さい。

介護支援専門員との情報交換会を定期開催しています

地域医療支援連携センター 青木 雅代

皆さまもご存知かと思いますが、国は地域包括ケアシステム構築を進めております。この地域包括ケアシステムとは、皆さまが住み慣れた場所で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるような仕組みを地域全体で作る取組です。具体的には、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供されることが望まれています。国がこの仕組みを構築していこうとする理由には、今後医療や介護の需要がより一層高まることが予想されているからです。

当院では、急性期病院として皆さまが安心して医療を受けることができ、そして安心して自宅に戻れるよう、かかりつけ医の先生方との連携強化を行っておりますが、今年度は、暮らしを支える介護分野のキーマンである介護支援専門員の方々と情報交換会を定期的に開催し、皆さまが当院を退院して自宅に戻った後に安心して暮らせるための具体的な支援方法を検討しております。

今後この地域の将来に向けて、当院が出来ることを一つ一つ行っています。

新病院建設事業の進捗状況についてお知らせいたします



新病院完成予想図

日頃、病院運営につきまして、地域の皆様にご理解ご支援を賜り誠にありがとうございます。

当院は、入院棟を附属外来センター敷地内に新築移転する計画を進めておりますが、平成27年10月に行われた多野藤岡医療事務市町村組合議会において、建設工事費についての予算が承認されました。

平成28年1月には施工者との契約を締結し、平成29年の秋頃の開院に向けて、本格的に建築工事がスタートいたします。

来院者様および地域の皆様には何かとご迷惑をお掛けしますが、安全には十分留意して工事を進めて参ります。

今後も地域から信頼され選ばれる病院を目指し、地域医療の確保に努めてまいります。引き続き皆様のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。